

## 歯を抜いたらどうなるの？

永久歯は抜いたら二度と生えません。当院ではできるだけ長く自分の歯で過ごしてほしいと考えていますが、中には抜いた方がよい場合もあります。例えば・・・

- ① 根の先だけが残っているような大きなむし歯
- ② 根が大きく割れている歯
- ③ 歯周病などで大きく動揺している歯
- ④ 隣の歯やあごに悪影響を及ぼす親知らず
- ⑤ 永久歯の正常な萌出を妨げている乳歯 など

では、抜いた後はどうなるのでしょうか？乳歯は永久歯が生えてくるので問題ありません。親しらずや一番奥の歯の場合は、抜きっぱなしで何も入れないことが大半です。しかし、前の歯や中間の歯を抜くと隣の歯が動いてきたり、かみ合わせの歯が伸びてきたりと他の歯にとってもよくありません。もちろん歯がないと見た目もよくないですね？だから、歯のない部分を補うために何かを入れる必要があります。

## 抜いた後に入れる代表的なもの

### ① 義歯（入れ歯）

最も手軽な方法です。入れ歯を支えるために金属のバネを自分の歯に引っ掛けます。そのため見た目が悪くなってしまいます。抜いた歯の本数が多いと入れ歯も大きくなります。食後には入れ歯を外して、きれいに洗う必要があります。



### ② ブリッジ

両隣の歯を削って土台を作り橋渡しをするように被せを入れます。歯科用の接着剤でしっかり固定するので入れ歯のように外すことはありません。ただし、両隣の歯がしっかりとした丈夫な歯であることが前提です。ブリッジにすることで隣の歯の負担が大きくなるので、この治療がおすすめできない場合もあります。また、隣の歯がむし歯になったら、ブリッジを切断して治療する必要があります。



### ③ インプラント

骨にネジを埋め込んで、そのネジを土台にして人工の歯を装着します。見た目はきれいで、自分な歯と同じような感覚です。しかし、保険ではできないため高額になります。当院では行っておりませんので、ご希望の場合は他の歯科医院を紹介させていただきます。

